

重点推進施策内の改訂部分

だれもが住みたくなる総社

- ①子育て
待機児童を3年以内に“ゼロ”に
○放課後児童クラブの充実1～3年生の待機児童ゼロ
○保育士・放課後児童支援員の確保策の実施
- ②社会保障(高齢者・障がい者など)
元気でいきいき!健康寿命を延ばす
○市民の健康管理意識の向上を図るため、情報通信技術等を活用したインセンティブ事業の実施
○健康診査やがん検診の受診率のアップと市民の健康管理意識の向上を図る
- ③住宅・生活基盤
南北道を始めとした道路整備
○南北道を整備し、回遊性を高め、利便性の向上を図る

だれもが働きたくなる総社

- ①雇用
「ひきこもり」の状況にある人の就労自立を支援
○ひきこもりの原因の1つとされる不登校について、相談支援体制を整備
生涯現役を目指した高齢者を応援する
○「そうじゃ60歳からの人生設計所」を活用した高齢者雇用の推進
- ③商工業・物流
市内企業・事業所との連携
○ふるさと納税を活用して地元企業を応援する

だれもが学びたくなる総社

- ①学校・幼児教育
特別な支援が必要な子どもたちを支援
○教育と福祉が連携し、切れ目のない支援

だれもが集いたくなる総社

- ②広域連携
大学との連携
○岡山県立大学やくらしき作陽大学・さくよう音楽短期大学、青山学院大学、順正学園、川崎学園等との連携推進と拡充
○協定締結大学との連携の強化と、新しい大学との連携の推進

第2次総社市総合計画 【平成29年度改訂版】

岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社

～全国屈指の福祉文化先駆都市～

総社市流施策で福祉文化を全国トップレベルにし、
岡山・倉敷を“質”で超える 新しい総社を創造する

5つの基本目標

だれもが **住み
働き
学び
訪れ
集い** たくなる総社

3つの基本理念

困っている仲間を支援しよう!

子どもと仲間を増やそう!

仲間と力を合わせよう!

総社市

基本計画 5つの「したくなる」まちをつくる

目標・重要業績評価指数は、平成27年から平成32年の数値です

だれもが住みたくなる総社

子育て 「子育て王国そうじゃ」をさらに深化する

- ◆待機児童を3年以内に“ゼロ”に
- ◆妊娠期から子育て期をワンストップで支援
- ◆支援が必要な子どもを応援

社会保障 いつまでも総社で安心して暮らす

- ◆独居高齢者の孤立を防ぐ
- ◆高齢者のケア・見守りの強化
- ◆雪舟くんの利便性強化
- ◆切れ目のない介護と医療体制をつくる
- ◆障がい者の支援の充実
- ◆元気でいきいき！健康寿命を延ばす

住宅・生活基盤 総社に住み続けたいくなる

- ◆吉備線をもっと便利に
 - ◆市街化区域の再活性化
 - ◆夜間ピカピカ大作戦
- New!** ◆南北道を始めとした道路整備

移住・定住促進 魅力ある総社に住んでもらう

- ◆結婚を応援
- ◆移住・定住を促進

防災・消防 総社を大震災時の支援拠点にする

- ◆東日本大震災から学び、災害に強いまちにする
- ◆大震災時の支援拠点となる

目標 転入超過数
155人/年 → **200**人以上 (今後5年間の累計の平均)

重要業績評価指数

転入者数 2,500 2,173人 → 2,400人	出生数 564人 → 646 人	待機児童数 50人 → 0 人
子宮頸がん検診 (HPV検査) の受診者数 350 人	子育てしやすいと感じている人の割合 80 %	
雪舟くん平均乗車数 229人/日 → 250 人/日		
認知症サポーター 2,538人 → 6,000 人		
いきいき百歳体操実参加者数 1,925人 → 2,800 人		
宅地面積 1,475ha → 1,505 ha		
統一されたデザインによる街路灯の設置 80 基		
カップリングパーティー カップル成立数 (累計) 11組 → 70 組		
結婚活動事業参加者の成婚者数 (累計) 0件 → 10 件 up!		
移住相談等の施策により移住した件数 (累計) 2件 → 75 件		
自主防災組織率 50.1% → 70 %	防災啓発事業の実施 年2回 → 年 10 回 up!	

だれもが学びたくなる総社

学校・幼児教育 だれもが行きたくなる学校をつくる

- ◆「心」を重視した教育
- ◆だれもが行きたくなる学校づくり
- ◆特別な支援が必要な子どもたちを支援
- ◆特色ある学校づくり
- ◆世界へはばたく特区教育を

家庭教育 家庭や地域の学びを応援する

- ◆家庭教育
- ◆学習を応援

スポーツ・文化・生涯学習 総社で生涯学び、スポーツをする

- ◆スポーツを楽しむ
- ◆貴重な文化財を守り、文化芸術を身近に
- ◆生涯学ぶ

目標 年少人口数 (0~14歳)
9823人 → **10,000**人超

重要業績評価指数

地域の特色やニーズにあった特区の新設1区 → 3 区	
不登校出現率 小学校0.43%、中学校1.97% → 小学校 0.3 %以下、中学校 1.7 %以下	
昭和三十九年等英語教育特区への地区外から通園通学する児童生徒数 (幼小中) 47人 → 70 人 up!	
高校進学を希望するワンステップ受講者の進学率 → 100 %	学校運営協議会の設置数 7 校以上
体育施設の利用者数 (延べ) 520,000人 → 600,000 人	吉備路文化館の来場者数 (延べ) 8,800人 → 10,000 人

だれもが訪れたくなる総社

観光 総社の魅力を発信する

- ◆全国屈指のマラソン大会
- ◆観光用の2次交通整備
- ◆さらなる観光客・訪問客の増加

都市・社会基盤 総社の景色を変える

- ◆岡山県立大学周辺を東の玄関口に
- ◆主体的な土地利用の促進

自然・環境 美しい総社を未来へつなげる

- ◆「赤米」を日本遺産登録へ
- ◆豊かな自然を大切に

目標 滞在人口 平日117,000人、休日112,600人
→ 平日 **120,000**人、休日 **116,000**人 **数値修正**

重要業績評価指数

観光客数 80万人 → 100 万人	
そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度 70.5点 → 80 点	
県立大学生の総社市居住率 45% → 55 %	宅地面積 1,475ha → 1,505 ha
日本遺産登録件数 1 件以上	環境教育・学習参加者数 (延べ) 214人 → 320 人

だれもが働きたくなる総社

雇用 総社で「働きたい」「雇用したい」を応援する

- ◆労働者を増やす
 - ◆様々な働き方を応援する
 - ◆障がい者の自立を応援
 - ◆発達障がい者の自立を支援
 - ◆「ひきこもり」の状況にある人の自立を支援
 - ◆若者の地元就職を推進
- New!** ◆生涯現役を目指した高齢者を応援する

農林業 総社の農業を元気にする

- ◆地食べ事業を核とした儲かる農業の推進
- ◆優良農地の確保

商工業・物流 総社の企業・起業を応援する

- ◆市内企業・事業所との連携
- ◆拠点整備を支援する

目標 総所得金額
805億円/年 → **840**億円/年

重要業績評価指数

市内事業所の従業者数 23,392人 → 25,000 人	総社市・高梁市連携事業 合同就職面接会参加者 → 250 人
ふるさと納税 地食べ事業による市内産米の消費量拡大 → 5,000俵 20,000	
営農組合の新たな組織化・法人化 → 3 組織	
学校給食における総社産野菜の利用率 36.9% → 40 %	荒廃農地の面積 63.8ha → 維持
従業員数50名以上の企業誘致 → 3 社	
市内事業所数 2,052事業所 → 2,100 事業所以上	

だれもが集いたくなる総社

市民参加 市民と共に総社を創る

- ◆地域課題を解決し、独自性ある地域を創る
- ◆女性が活躍する
- ◆外国人と共生する
- ◆みんなで考え取り組む

広域連携 岡山・倉敷等と連動する

- ◆広域で連携する
- ◆大学との連携
- ◆地元金融機関との連携

市役所 市役所を改革する

- ◆行財政改革
- ◆ファシリティマネジメントの実施
- ◆職員の意識改革

目標 市に愛着を感じている人の割合
75.2% (H27年度) → **85**%

重要業績評価指数

up! 市民提案型事業への応募件数 9件 → 15 件	多文化共生イベントへの来場者数 1,300人 → 2,000 人
小児医療費決算額 2億5,232万円 → 2億 5,000 万円未満	
ごみ減量化推進団体資源回収量 1,509t → 1,800 t	
市役所での大学生インターンシップ受け入れ人数 31人 → 60 人	総社市・高梁市連携事業バスツアー参加者 40人/年 → 60 人/年
個人番号カードの普及 (累計) 70 %	市債の借入額 (当初予算の5年間平均) 元金償還額の 95 %以下に抑制